

事務系職種（大卒程度）採用試験 教養試験問題

【例題1】 兵庫県にある美術館や博物館に関する次の記述のうち誤っているものはどれか。

1. 兵庫県立美術館は、海に面した場所に建ち、日本を代表する建築家、安藤忠雄氏の設計である。
2. 兵庫県立人と自然の博物館は、洲本市にあり、「人と自然の共生」をテーマとした自然史系博物館である。
3. 兵庫県立芸術文化センターは、舞台芸術の鑑賞、創作、発表など多彩な文化創造活動を通じて、広く芸術文化の振興を図る施設である。
4. 兵庫県立兵庫津ミュージアムは、「ひょうごはじまり館」と「初代県庁館」の2館からなる施設である。
5. 初代県庁館は、1868年に初代県庁舎となった旧大坂奉行所兵庫勤番所を復元した施設である。

(正答) 2

事務系職種（大卒程度）採用試験 教養試験問題

【例題2】 兵庫県の令和5年度当初予算に関する次の記述のうち、妥当なものの組み合わせはどれか。

- ア. 2023年度当初予算は、4兆2,782億円で、臨時財政対策費を合わせた実質的な地方交付税は減少するものの、一般財源総額では前年度当初予算を上回る見込みである。
- イ. 予算の県税収入は、過去最少の8,037億円となる見込みで、このうち個人関係税は2,288億円、法人関係税は744億円、地方消費税は2,744億円となっている。
- ウ. 歳出では、社会保障関係費、万博関連事業や投資補助事業等の増加を見込む一方、新型コロナウイルス感染症に対応する事業の縮小などにより、前年度予算を下回った。
- エ. 2023年度予算は、「古きよき時代の力を再活用する」、「人の流れを生み出す」、「一人一人に寄り添う」の3つの方針で編成した。

- 1. ア, イ
- 2. イ, ウ
- 3. ウ, エ
- 4. ア, ウ
- 5. イ, エ

(正答) 4

【例題3】日本のデジタル化の現状に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 光ファイバの整備率（世帯カバー率）及び5G通信のサービスエリアを示す全国の人口カバー率はともに90%を超えており、デジタルインフラの整備が進んでいる。また、個人の年齢階層別にインターネット利用率を見ると、6～12歳から80歳以上までの全ての階層で90%を超えている。
2. デジタル社会実現の司令塔としてデジタル庁が発足した。デジタル庁は、各種の行政手続のオンライン化を推進しており、また、オンラインによる選挙の投票について2023年度中に実現することを目標として掲げている。
3. 政府はデジタル社会に不可欠なマイナンバーカードの普及を進めており、健康保険証をマイナンバーカードと一体化した形に切り替える方針を示した。しかし、マイナンバーカードの全国の交付枚数率は2023年3月時点で50%に満たない。
4. 日本においてクレジットカードやコード決済などを使ったキャッシュレス決済比率は、新型コロナウイルス感染症の流行も影響し、上昇している。しかし、アメリカや韓国などに比べると低い水準にある。
5. デジタル・トランスフォーメーション（DX）に関する取組を進めている企業の割合は、日本の方がアメリカよりも高い。DXを進める上で日本企業においては、デジタル人材は十分に確保されているが、資金不足が最大の障壁となっている。

（正答）4

事務系職種（大卒程度）採用試験 教養試験問題

【例題4】 水が入った三つのタンクA～Cがある。Aの水量は100Lであり、BとCの水量の比は2：3である。いま、30Lの水をこれら三つのタンクに分けて追加したところ、三つのタンクの水量の比は追加する前と同じになった。また、Aに追加した水量はBに追加した水量よりも2L多かった。水を追加した後のCの水量は何Lか。

1. 99L
2. 100L
3. 121L
4. 132L
5. 143L

(正答) 4